

**福島県・大熊町・双葉町が安全協定に基づき実施した
中間貯蔵施設の状況確認・立入調査の結果等について**

令和3年10月14日

福島県生活環境部中間貯蔵施設等対策室

①福島県沖地震による被害からの復旧状況調査

概要

令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により稼働を停止していた双葉町減容化施設(仮設焼却施設及び仮設灰処理施設)について、福島県及び双葉町が各施設の復旧状況を調査した。
その結果、施設は適切に修繕及び再発防止対策が講じられていた。

調査対象

施設		調査日	破損箇所
双葉町減容化施設 (その1)	仮設焼却施設	4月8日	搬送コンベアスプリング
	仮設灰処理施設		ガス冷却塔伸縮継手
双葉町減容化施設 (その2)	仮設焼却施設		空気予熱器伸縮継手
	仮設灰処理施設		ごみクレーン
			生成物搬出室シャッター

調査結果

下記について、設備の修繕及び再発防止策の履行を確認した。

- ・搬送コンベアスプリングの交換
- ・各伸縮継手の伸縮管交換及び継手部の耐震補強
(継手補修箇所付近で空間線量率異常値の検出なし)
- ・ごみクレーンの復旧
- ・生成物搬出室シャッター補修



損傷箇所付近の空間線量率測定

②排ガス中の水銀濃度基準値超過に係る調査

概要

令和3年5月21日、双葉町仮設焼却施設(その1業務)の排ガス(同月13日採取)から、基準を超過した濃度の水銀が検出された。

環境省から原因及び再発防止に関する報告を受け、福島県及び双葉町が再発防止策の履行状況を調査した。その結果、各工程において適切に再発防止対策が講じられていた。

また、県が大気汚染防止法に基づき排ガス中の水銀濃度を測定した結果、基準内であった。

調査対象

施設		調査日	調査事項
双葉町減容化施設 (その1)	仮設焼却施設	5月26日	排ガスの処理状況 焼却対象フレコンの内容物確認状況
双葉町上羽鳥仮置場	3工区B	6月16日	水銀使用製品廃棄物等の分別状況
双葉町内	家屋解体現場		

調査結果

下記について、再発防止策の履行を確認した。

- ・仮置場における展開検査の実施
- ・仮置場及び解体現場における水銀使用製品の分別徹底
- ・排ガス処理工程での活性炭噴霧量の増量



家屋解体作業現場での水銀使用製品など特定品目の分別



仮置場での展開検査

仮置場での一時保管

県による測定結果

単位：μg/Nm³

	7月29日	8月31日
水銀濃度(全水銀)	0.1未満	0.1未満

③ 仮設処理施設緊急停止に係る調査

概要

双葉町仮設灰処理施設が炉内圧上昇により、令和3年6月2日及び7月1日にそれぞれ緊急停止した。環境省から発生原因、施設修繕及び再発防止に関する報告を受け、福島県及び双葉町が修繕及び再発防止策の履行状況を調査した。その結果、施設は適切に修繕及び再発防止対策が講じられていた。

調査対象

停止日	施設		調査日	調査事項
6月2日	双葉町減容化施設 (その2)	仮設灰処理 施設2号炉	6月16日	・施設の損傷状況 ・空間線量率の状況
			7月29日	・施設の復旧状況、再発防止の実施状況
7月1日	双葉町減容化施設 (その1)	仮設灰処理 施設1号炉	7月29日	・施設の復旧状況 ・再発防止の実施状況

調査結果

下記について、設備の修繕及び再発防止策の履行を確認した。

【仮設灰処理施設(その2)2号炉】

- ・炉頂部亀裂の修繕
- ・排ガスダクト溶接部ピンホールの修繕
(付近で空間線量率異常値の検出なし)

【仮設灰処理施設(その1)1号炉】

- ・炉天井部配管の修繕
- ・熔融対象物の塩基度の確認及び調整



仮設灰処理施設(その2)線量測定



仮設灰処理施設(その2)損傷状況



仮設灰処理施設(その1)復旧状況

④可燃物分離機ベルトコンベア巻き込まれ事故に係る調査

概要

令和3年6月9日、双葉①工区受入・分別施設の可燃物分離機において、作業員が稼働中のベルトコンベアに巻き込まれ重傷を負う事故が発生した。

環境省から発生原因及び再発防止に関する報告を受け、福島県及び双葉町が再発防止策の履行状況を調査した。その結果、適切に再発防止対策が講じられていた。

調査対象

施設	調査日	調査事項
双葉①工区 受入・分別施設	6月23日	再発防止の実施状況

調査結果

下記について、再発防止策の履行を確認した。

【稼働立入禁止措置】

- ・ベルトコンベア稼働部にネットを設置
- ・分離機進入口にガードフェンス(施錠管理)を設置
- ・ガードフェンス内作業時に点灯するパトランプを設置

【非定常作業のマニュアルの策定・運用状況】

- ・非定常作業時における作業マニュアル策定・提示
- ・正・副担当者の掲示
- ・作業員への周知徹底



可動部へのネット敷設状況



ガードフェンスの設置及び施錠管理状況、正・副担当者の掲示



ガードフェンス解錠時におけるパトランプ点灯状況



ガードフェンスにおける作業マニュアルの掲示状況

⑤ 除去土壌輸送車両積載フレコンバックの荷崩れ及び漏水事故に係る調査

概要

令和3年9月7日、常磐自動車道ならばパーキングエリア(下り)において、輸送車両の荷崩れ及びパーキングエリア内への漏水事故が発生した。

環境省から事故発生に関する報告を受け、福島県が事故発生現場の状況及び積込場での再発防止策の履行状況を調査した。その結果、周辺環境への影響は見られず、積込場では適切に再発防止対策が講じられていた。

また、環境省に対し、漏水防止対策の履行確認を定期的に確実に実施し、再発防止に万全を期すよう求めた。

調査対象

調査場所		調査日	調査事項
常磐自動車道	ならばパーキングエリア(下り)	9月8日	・漏水現場の周辺環境への影響
積込場	郡山市福原地区①	9月17日	・再発防止の実施状況(当該JV)
積込場	西郷北部、白河地域	9月28日	・再発防止の実施状況(その他のJV)

調査結果

下記について、周辺環境への影響及び再発防止策の履行を確認した。

【漏水現場の周辺環境への影響】

- ・空間線量率及び表面汚染密度ともにバックグラウンドレベル
- ・雨水排水の放射能は、セシウム-134(検出下限値:5.3 Bq/L)、セシウム-137(検出下限値:5.6 Bq/L)ともに不検出

【積込場における再発防止対策】

- ・漏水防止対策(フレコンバックの固定、防水養生シートの設置等の適正な運用)の実施
- ・作業員への周知徹底



雨水排水の採取状況



表面汚染度の測定状況